

歯の健康は…虫歯治療だけでなく

歯列矯正も大切

海外にいと、日本以上に体の健康には十分気をつけていますが、歯の健康は大丈夫ですか。虫歯にならないよう、寝る前にはしっかり歯磨きをして、歯医者に駆け込むことがないようにしましょう。とはいうものの、永久歯が生えてきたら、顎が小さくて、大きい歯がちゃんとそろって生えてこれなくなってきた、このままでは八重歯になってしまう、というお子さんはいらっしゃいませんか？

「海外在住だから、本帰国後に日本で治療を」と放っておくと、ついつい「このままでも良いか」となってしまう。気がついたらすぐに歯科医とコンタクトを取って治療を始めましょう。ベルギーでの最新の矯正法をPepsのDumu矯正歯科医に伺ってきました。電話での問い合わせは、英語、フランス語、オランダ語などで対応してくれます。

ベルギーでは、世界でも例外的ですが、ベルギーでは15歳までに矯正治療を始めると、15歳以降の治療にも国民健康保険が適用されます。歯は毎日使うもの、歯並びを良くして美味しいものを食べ、健康で長寿を

モットーにという国民の健康を考えているのです。駐在員としてベルギーに滞在している方でも、ベルギーの国民健康保険に加入していれば、保険金の還付が受けられますので、まずは歯科医に相談に行きましょう。近年は、子どもだけでなく、大人でも歯科矯正をしている方がたくさんいます。笑顔が美しいというだけでなく、いつまでも何でも食べられる丈夫な歯を持っていることが大切であると考えられているのでし



う。国民健康保険が適用されなくても、日本に比べたら治療費は安価です。ベルギー滞在中に矯正治療を終えてしまうというのも手です。

従来のワイヤー&ブラケッ

ト矯正に加えて、近年ではインビザラインと呼ばれるマウスピース矯正があります。これは、1997年にアメリカで生まれた矯正法で、透明に近く薄い矯正装置を1日18~22時間装着しておく治療法です。自分で取り外せるので、食事中や歯磨き時には取り出して、装置のお手入れも簡単にできます。装着していても透明に近い色なので、違和感なく笑顔を見せることができます。ただし、装着中は、水など透明な冷たいものしか飲めません。コーヒーやお茶を飲むときには、マウスピースをはずしてから飲んでください。



精密検査で得た3Dデータを元に、治療の全過程のマウスピースを一度に作り、10日に一度取り替えるシステムです。一つのマウスピースで少しずつ歯を移動させていきますので、違和感や痛みが少なく、気がついたらきれいになっているという強者です。マウスピースを自分で取り替えるため、歯医者への通院回数も少なく、いつからでも始められるので、お子様に限らず、社会人でも矯正を開始する方が多くなりました。

治療期間が短く、また終了期間をあらかじめ予測できるので、駐在期間中でも始められます。そして、治療途中であっても、マウスピースは最終段階まで作ってあるので、治療を続け、帰国後に診断書を持って日本の歯科医に治療を継続してもらおうよう依頼できます。

医療にはさまざまな治療方法があり、それぞれにメリット、デメリットがあります。歯列矯正についても同じで、全ての矯正治療をマウスピース矯正で行うことはできません。歯科医師との適切な情報交換を行って、ワイヤー&ブラケット矯正とマウスピース矯正のメリット、デメリットをしっかりと理解したうえで治療法を選択することが大切です。

ちなみに歯科医がやるセラミック矯正という短期間で終わられる矯正もあります。この矯正は、歯を削って、セラミック歯をかぶせる矯正法で、短期間でニーズに合った歯並びになります。しかし、健康な歯を削るため、歯の寿命を縮めることになり、また、10年に一度は、再度セラミック歯をかぶせ替える必要があり、そのたびに自分の歯を削ることになります。欠損した歯の治療としてはいいですが、歯並びを直す矯正治療にはお勧めできません。

